

## ○ 教育目標

本校は、新たに就農しようとする青年その他本県の農業を担うべき者を対象に、優れた農業経営者として必要な能力の向上と幅広い教養、さらには人間性の涵養を図るため、次の目標を掲げ、実践的教育と研修を行う。

- (1) 農業経営に必要とされる実践的な技術能力を向上させる。
- (2) 専門化した高度な農業経営が営める経営管理能力を向上させる。
- (3) 農業に求められる多様な役割を担える指導力を向上させる。
- (4) 新しい技術を創造し、社会の進歩に対応できる創造応用能力を向上させる。
- (5) 協力して郷土を守り育てる組織活動能力を向上させる。
- (6) 地域社会の中核として必要な判断企画能力を向上させる。

## ○ 教育内容

### 1 農業生産学部・農業経営学部

#### (1) 教育方針

優れた農業経営者を育成するため、専門性の高い知識、技術や経営管理能力が習得できるよう、講義・実験などの基本学習に加え、校内・先進的農家等での実習に重点を置き、これらの履修時間を概ね 50:50 の割合で実施する。

また、仲間づくりや責任感・協調性を育むため、農業生産学部 1 年次を全寮制とする。

#### (2) 修業期間

2 年

#### (3) 教育内容

学部	学 科	専 攻	主 な 履 修 内 容
農 業 生 産 学 部	農 業 総 合 学 科	作 物	土地利用型作物（水稲・麦等）についての生理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理のための知識・技術を修得する。
		露地野菜	土地利用型作物（露地野菜等）についての生理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理のための知識・技術を修得する。
		施設野菜	施設野菜（いちご・トマト等）についての生理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理のための知識・技術を修得する。
		花 き	花き（シクラメン・ポインセチア等の鉢物、きく、カーネーション、ゆり、トルコキキョウ等の切り花）についての生理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理のための知識・技術を修得する。
		果 樹	果樹（なし・ぶどう・りんご等）についての生理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理のための知識・技術を修得する。
	畜産学科	—	酪農・肉用牛経営に必要な家畜飼養管理・繁殖・搾乳・肥育・飼料作物栽培などに関する専門的知識・技術及び経営管理のための知識・技術を修得する。
農 業 経 営 学 部	い ち ご 学 科	—	いちごについて、自ら学び知識を深めるゼミ形式の授業等により、最新の栽培知識や生産現場での実践技術、高度な経営管理手法を習得するとともに、就農に向けた就農計画の作成を行う。
各学科共通			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ GAP (農業生産工程管理) についての知識・実践力を修得する。</li> <li>◎ 水稲の生理・生態や栽培に適した環境を理解し、水稲栽培及び経営の知識を基礎から修得する。</li> <li>◎ 作物の生産性を考慮した土壌及び肥料の知識を修得する。</li> <li>◎ 食品の安全性や農畜産物の加工法・保存法などの知識を修得する。</li> <li>◎ 農畜産物のマーケティング等に関する知識を修得する。</li> <li>◎ 農業機械の安全効率利用に関する知識・技術を修得する。</li> <li>◎ 自ら生産した農畜産物を加工まで学習させ、6次産業化に対応できるための知識・技術を修得する。</li> </ul>